

一級自動車工学科・自動車整備科		2024年度		授業計画	
時期	1年A巡	単元	実習	教科名	車両取扱
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品		発行日	2024年4月5日 1900年1月2日
総時限	16時限			教科担当	横山 ● ■ 1年生担当教員 ● ■
1. 指導教員の実務経験					
自動車販売会社で整備士としてシャシ装置分解点検整備の実務経験がある教員により車両の取り扱い、車両構造、整備作業について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
1.実習授業で車両を取扱う方法と注意点を学び、実際のお客様の車両を取扱う事へ繋げる。 2.ジャッキアップの作業方法と注意点を学ぶ。 3.タイヤ脱着の基本手順、作業姿勢、工具選択の重要性を学ぶ。 4.実際の車両から部品名称を学ぶ。 5.車両の基本の取扱を学ぶ。					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）					
1.お客様の車両の取扱い方法を理解する。 2.サークルチェックの意味を理解し確実に行なえる。 3.車両ごとに5点セットの取付けが正しく出来る。 4.車両の内外装の名称、メーター、警告灯類の意味を理解する。 5.車両ごとのジャッキポイントを理解し、安全に正しく確実にジャッキアップ出来る。 6.タイヤ脱着の手順を理解し安全に正しく確実に出来る。 7.各種工具の取扱い、ボルト、ナットの回し方、締付けトルクを理解し場所に適した工具が使用出来る。 8.安全、確実、スピーディーな作業姿勢を体感し身に付ける。 9.E/Gルーム点検で12ヶ月点検前準備（5点セットの練習も可能） 10.パンタジャッキ操作方法を習得（ジャッキアップポイントの繰り返しの確認も可能）					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
<p>・実習履修試験での得点評価</p> <p>合格基準：整備科60点以上で合格、工学科70点以上で合格</p> <p>評価の種類：『優』・『良』・『可』（履修）、『未』（未履修）の4段階で評価</p> <p>評価基準：80点以上…『優』、整備科60点以上、工学科は70点以上…『良』 整備科60点未満、工学科70点未満…『未』（未履修） 再試験・判定試験で合格した場合は得点に関係なく…『可』</p> <p><出題試験項目></p> <p>① ジャッキアップし、前輪一輪タイヤ脱着を行う</p> <p>② 車両取扱時の注意事項、内外装名称、基本型式</p>					
5. 準備学習					
自動車の基礎知識を事前に読んでおくこと。					

※ ● ⇒実務経験がある教員

※ ■ ⇒日産資格保持者

時期	A巡	単元	実習	教科名	車両取扱
----	----	----	----	-----	------

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	ドアの開閉	周囲に人が居ないか確認して静かに閉める。 ドアを閉めるとき最後まで手を添える。	迂闊に勢い良く閉めた為他の班員の手を挟んだ	
2	ジャッキアップ	ジャッキポイントに確実にセットする。	・ジャッキが外れ車体が落下した ・フロントメンバー以外の場所を当てたため他のフレームが凹んだ	
3	ジャッキダウン	・ジャッキ操作はゆっくりと行なう。 ・周囲に人が居ないか確認、よそ見をしない。 ・リジトラックをセットする時は 足を持つ 。 ・絶対に頭を車両の下に入れない。	リジトラックの上面を持ってセットしていた為車体が急降下した際に手を挟んだ	
4	ジャッキのメンテナンス	・繰り返しの操作でジャッキハンドルの取付ボルト緩みが発生する。定期的なチェック、締め付けが必要。	・ジャッキアップ中にハンドルが外れ、ジャッキを下げるができなくなる。	
	パンタジャッキ	全数見切れないため安全確保のためタイヤ脱着は行わない。		



8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場	座学教室